

(参考資料7) 環境経営の評価チェックリスト

(※)チェック欄に、内容にあてはまる項目のA、B、Cを記載。あてはまらなければ空欄。

大項目	中項目	基礎項目	質問内容	回答内容	チェック欄(※)
基本的要件	対象組織の範囲	○	環境配慮経営の対象範囲は	A 関連するすべての事業者(連結範囲等) B 自社及び重要な子会社等 C 自社のみ	
経営責任者の主導的関与	経営責任者の諸言	○	経営責任者が、環境配慮の実行を明言(コミット)しているか	A 具体的目標に言及し、実行を明言している B 目標には言及していないが、実行は明言している C 明言していない	
環境配慮の方針、ビジョン及び事業戦略等	環境配慮の取組方針	○	環境配慮の方針を制定しているか	A 経営方針と関連付け、制定している B 経営方針との関連は乏しいが、制定している C 制定していない	
	重要な課題、ビジョン及び事業戦略等	○	環境負荷が与える経営への影響を見て、重要な課題を特定しているか	A 重要な課題として、特定している B 重要な課題としては、特定はできていない C 経営への影響は重要でない	
		○	環境課題に対する目標を設定しているか	A 中長期目標(3~5年)を設定している B 短期目標(1年)のみ設定している C 設定していない	
組織体制及びガバナンスの状況	環境配慮経営に関する組織体制等(環境リスクマネジメント体制含む)	○	役員クラスの者が、環境経営を統括する組織の最高責任者となっているか	A 役員クラスの者が、統括している B 役員クラス以外の者が、統括している C 統括(関与)していない	
		○	組織体制に関する承認手続き等の責任と権限に関するルールを明確にして、適切に運用しているか	A 明確であり、適切に運用している B 明確ではないが、適切に運用している C 明確でなく、適切に運用しているといえない	
		○	環境マネジメントシステム(ISO 14001やEA21など)の認証取得は、重要な拠点において取得しているか	A すべての重要な拠点において、認証取得している B 一部の重要な拠点において、認証取得している C 認証取得していない	
		○	環境マネジメントシステムは、全社的に導入しているか(認証取得の有無によらない)	A 全社的に導入している B 全社的ではないが一部の事業所で導入している C 十分導入できていない	
		○	環境教育は、従業員に実施しているか	A 全従業員に実施している B 一部の従業員のみ実施している C 実施していない	
		○	環境監査は、実施しているか	A 全拠点を対象に、実施している B 重要な拠点にのみ、実施している C 環境監査を実施していない	
		○	災害事故等への対応について、防止・予防策や訓練等が計画的に実施しているか(BCPの策定・運用)	A サプライヤーも含めて、対応できている B 自社の事業エリアでは、対応できている C 十分できていない	
	環境に関する規制等の遵守状況	○	環境に関する法規制等の遵守状況を確認しているか	A サプライヤーも含めて、確認している B 自社の事業エリアでは、確認している C 十分確認できていない	
		○	過去(3年内)に法規制等への違反があった場合、その違反に十分対応できているか	A 違反の事実はない B 十分対応しており、現状では違反の事実はない C 十分対応できていない	

大項目	中項目	基礎項目	質問内容	回答内容	チェック欄(※)
ステークホルダーへの対応の状況	ステークホルダーへの対応	○	ステークホルダーからの要請や期待を把握し、意思決定や事業活動に反映しているか	A 意思決定や事業活動に、反映している B 把握しているが、十分反映できていない C 把握できていない	
	環境に関する社会貢献活動等		社会貢献活動(行政機関等との連携を含む)を行っているか	A 全社的に行っている B 一部の従業員が行っている C 行っていない	
バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況	バリューチェーンにおける環境配慮の取組方針、目標等	○	製品・サービス等のバリューチェーン全体(調達・研究開発・生産・販売・輸送・廃棄まで)における環境負荷低減について取組方針を策定しているか	A 策定している B 策定していない C 経営への影響は重要でない	
			(上記がA・Bの場合) バリューチェーンにおける環境課題に対する目標を設定しているか	A 中長期目標(3~5年)を設定している B 短期目標(1年)のみ設定している C 設定していない	
			(上記がA・Bの場合) 目標の達成に向けて、戦略的・計画的に対応しているか	A 事業戦略に織り込み、計画的に対応している B 事業戦略までではないが、計画的に対応している C 対応できていない	
	グリーン購入・調達	○	グリーン購入・調達について、目標管理を実施しているか	A 目標管理している B 目標管理していない C 該当しない	
			(上記がA・Bの場合) グリーン調達において、サプライヤーの環境経営を評価しているか	A 評価している B 法規制の遵守のみ、評価している C 評価していない	
			(上記がA・Bの場合) サプライヤーが自らのサプライヤーにも、グリーン調達をするよう要請しているか	A 要請している B 法規制等の遵守のみ、要請している C 要請していない	
	環境負荷低減に資する製品・サービス等	○	製品・サービス等の使用における環境負荷低減について、目標管理を実施しているか	A 目標管理している B 目標管理していない C 該当しない	
	環境関連の新技术・研究開発		環境技術等の研究開発について、目標管理を実施しているか	A 目標管理している B 目標管理していない C 該当しない	
	環境に配慮した輸送		環境に配慮した輸送について、目標管理を実施しているか	A 目標管理している B 目標管理していない C 該当しない	
	環境に配慮した資源・不動産開発/投資		環境に配慮した資源・不動産開発/投資等(企業年金基金含む)について、目標管理を実施しているか	A 目標管理している B 目標管理していない C 該当しない	
環境に配慮した廃棄物処理/リサイクル		環境に配慮した廃棄物処理/リサイクルにおいて、取組方針の策定及び目標管理を実施しているか	A 目標管理している B 目標管理していない C 該当しない		
環境報告	環境報告の作成・公表	○	環境報告書(CSR報告書等を含む)を、作成・公表しているか	A 組織的に検証している B 組織的には検証できていない C 作成・公表していない	
	環境報告の信頼性		環境報告の信頼性を、チェックしているか	A 第三者審査を受けている B 自己評価している C チェックしていない	

環境経営の評価チェックリスト(環境パフォーマンス)

重要項目の環境負荷項目について、チェック(該当する番号の記入)を行う。

環境負荷項目		重要項目のチェック	規制等の遵守	環境負荷量(マテリアルフロー)の把握	バウンダリ	目標値の設定	目標達成状況
		重要の場合「○」	1.遵守している 2.遵守していない 3.規制等はない	1.把握している 2.把握していない	1. 連結 2. 連結の主要会社 3. 単体	1.中期(3~5年)及び短期(1年) 2.短期(1年)のみ 3.なし	1.達成している 2.達成していない
資源・エネルギーの投入	総合エネルギー投入量						
	総物質投入量						
	水資源投入量						
資源等の投入循環的利用							
環境負荷の排出等	温室効果ガスの排出量						
	総排水量						
	大気汚染、生活環境に係る負荷量						
	化学物質の排出量、移動量						
	廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量						
	有害物質の保管・排出量						
生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用							

(参考)社会項目・他項目

一般的に利用されているグリーン調達ガイドライン等で、社会項目として扱われている主な項目は、以下のとおりです。

	要求項目	内容
社会項目	人権・労働	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用における差別の禁止 ・人権尊重 ・児童就労の禁止 ・強制労働の禁止 ・賃金に係る法令順守 ・労働時間に係る法令順守 ・従業員との対話・協議 ・安全・健康な労働環境（機械装置の安全対策、職場の安全・衛生、労働災害・疾病、緊急時の対応、身体的負荷のかかる作業への配慮。施設の安全衛生。） ・人材育成
	安全・品質	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様（顧客・消費者）のニーズに応える製品の提供 ・製品に関する適切な情報提供 ・製品の安全確保 ・製品の品質確保
	公正取引・倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・汚職・賄賂などの禁止 ・優越的地位の濫用の禁止 ・不適切な利益供与および受領の禁止 ・競争制限的行為の禁止 ・正確な製品・サービス情報の提供 ・知的財産の尊重。 ・適切な輸出管理 ・不正行為の予防・早期発見
	情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ・ネットワーク脅威に対する防御 ・個人情報の漏洩防止 ・顧客・第三者の機密情報の漏洩防止
	社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・社会・地域への貢献
他項目	コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> ・法令順守 ・競争法の順守 （汚職防止、機密情報の管理・保護、輸出取引管理、知的財産の保護、腐敗防止については、「社会項目」参照）
	リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク分析とリスク管理の仕組みの構築・運用 ・事業継続計画の策定
	ステークホルダーへの情報開示	<ul style="list-style-type: none"> ・財務状況、事業活動等をステークホルダーへ適宜・適切に開示。 ・オープンで公正なコミュニケーションを通じ相互理解、信頼関係の維持・発展に努める。